



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月29日

上場会社名 メック株式会社

上場取引所 東

コード番号 4971 URL <http://www.mec-co.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 前田 和夫

問合せ先責任者 (役職名) 社長室長

(氏名) 坂本 佳宏

TEL 06-6414-3451

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日

平成22年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	3,569	30.2	535	105.3	466	78.6	340	48.7
22年3月期第2四半期	2,741	△38.4	260	△73.8	261	△74.7	229	△70.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	16.96	—
22年3月期第2四半期	11.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	10,830	8,499	78.5	423.46
22年3月期	10,746	8,429	78.4	419.96

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 8,499百万円 22年3月期 8,429百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
23年3月期	—	4.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,881	12.8	978	22.5	852	5.9	534	△25.2	26.61

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期2Q	20,371,392株	22年3月期	20,371,392株
② 期末自己株式数	23年3月期2Q	300,299株	22年3月期	300,133株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期2Q	20,071,186株	22年3月期2Q	20,071,352株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後さまざまな要因により業績予想とは異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想につきましては、2ページの連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、各国の景気対策により最悪期を脱し、穏やかな回復傾向となりましたが、依然として雇用情勢は厳しく、先行きに関して不透明感の払拭を出来ない状態にあります。

国内においても内需拡大の兆しはあったものの、円高の進行や株式市場の低迷等による設備投資の鈍化や個人消費の低迷により景気の先行きに不安感が漂っております。

そのような中、エレクトロニクス業界では、パソコンやスマートフォンの販売が比較的好調に推移しておりますが、薄型テレビや自動車の販売が厳しい状況になりつつあります。

また、電子基板業界では、第1四半連結会計期間はパッケージ基板を中心とする高密度電子基板の生産が好調に推移しておりましたが、第2四半期連結会計期間後半になり全般的に在庫調整のため、生産量が減少傾向となりました。

このような経営環境において、当社グループは既存ならびに新規顧客へのサポート体制を強化するために専門部署を設置し、先端基板向け・汎用基板向けに新規薬品開発にも注力してまいりました。しかしながら後半の在庫調整や株式市場の低迷、円高の進行等により当社の経営環境は予断を許さない状態となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は35億69百万円(前年同期比30.2%増)となりました。営業利益は5億35百万円(前年同期比105.3%増)、経常利益は4億66百万円(前年同期比78.6%増)、当期純利益は3億40百万円(前年同期比48.7%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債および純資産の状況

資産は、新事業所用の土地の取得により現金及び預金は減少し、有形固定資産の土地は増加いたしました。その結果、前連結会計年度末に比べて83百万円増加し108億30百万円となりました。

負債は、売上増による支払手形及び買掛金が増加し、株式の時価下落により繰延税金負債が減少いたしました。その結果、前連結会計年度末に比べ13百万円増加し、23億31百万円となりました。

純資産は、利益剰余金と借方の為替換算調整勘定が増加いたしました。その結果、前連結会計年度末に比べ70百万円増加し84億99百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は78.5%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期通期連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,314	1,305	1,264	852	42.48
今回発表予想(B)	6,881	978	852	534	26.61
増減額(B-A)	△432	△326	△412	△318	—
増減率(%)	△5.9	△25.0	△32.6	△37.3	—
前期実績 (平成22年3月期)	6,098	798	804	713	35.57

売上高の修正は、当連結会計年度において7月までは順調に推移していた当社薬品の売上高が8月になり、アジア全般でパッケージ基板を中心として在庫調整が進み、当社薬品の出荷が想定以下となったことが要因であります。

また利益面では薬品売上総利益率の低下に加え、円高の進行による為替差損と投資有価証券評価損が主な要因であります。その結果平成22年7月26日に公表した業績予想を平成22年10月27日に第2四半期連結累計期間、通期ともに修正の公表を行いました。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 簡便な会計処理

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しましては、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化がなく、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっており、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化があるか、または、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

1. 会計処理基準に関する事項の変更

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる損益に与える影響および当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は軽微であります。

2. 表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,634,033	4,081,071
受取手形及び売掛金	1,993,981	1,979,655
商品及び製品	248,076	233,356
原材料及び貯蔵品	186,629	190,971
繰延税金資産	126,800	121,768
未収還付法人税等	2,828	—
その他	55,370	47,894
貸倒引当金	△9,834	△10,215
流動資産合計	5,237,886	6,644,503
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,678,385	2,711,708
減価償却累計額	△1,426,906	△1,413,547
建物及び構築物（純額）	1,251,478	1,298,160
機械装置及び運搬具	1,486,626	1,504,004
減価償却累計額	△1,169,980	△1,164,365
機械装置及び運搬具（純額）	316,645	339,639
工具、器具及び備品	555,052	547,659
減価償却累計額	△413,252	△406,566
工具、器具及び備品（純額）	141,800	141,093
土地	3,281,817	1,182,290
建設仮勘定	39,875	440,673
有形固定資産合計	5,031,617	3,401,857
無形固定資産		
のれん	3,627	7,254
その他	39,639	42,902
無形固定資産合計	43,266	50,157
投資その他の資産		
投資有価証券	399,778	530,054
その他	121,259	121,165
貸倒引当金	△3,270	△1,188
投資その他の資産合計	517,768	650,031
固定資産合計	5,592,652	4,102,046
資産合計	10,830,539	10,746,550

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	667,038	612,499
短期借入金	480,000	480,000
未払金	198,277	227,756
未払費用	40,915	38,088
未払法人税等	111,341	126,754
賞与引当金	156,604	131,477
役員賞与引当金	5,100	—
その他	89,653	87,539
流動負債合計	1,748,931	1,704,116
固定負債		
繰延税金負債	399,371	445,276
退職給付引当金	78,762	59,694
その他	104,097	108,390
固定負債合計	582,231	613,361
負債合計	2,331,162	2,317,477
純資産の部		
株主資本		
資本金	594,142	594,142
資本剰余金	446,358	446,358
利益剰余金	8,157,925	7,897,763
自己株式	△92,816	△92,740
株主資本合計	9,105,609	8,845,523
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	61,410	84,858
為替換算調整勘定	△667,643	△501,309
評価・換算差額等合計	△606,233	△416,450
純資産合計	8,499,376	8,429,072
負債純資産合計	10,830,539	10,746,550

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	2,741,779	3,569,195
売上原価	1,008,190	1,493,648
売上総利益	1,733,589	2,075,546
販売費及び一般管理費	1,472,694	1,539,860
営業利益	260,894	535,686
営業外収益		
受取利息	21,149	6,849
受取配当金	5,846	4,419
投資有価証券売却益	1,582	—
株式割当益	—	5,218
その他	13,112	5,728
営業外収益合計	41,691	22,215
営業外費用		
支払利息	3,171	2,626
有価証券売却損	420	—
投資有価証券評価損	574	66,205
為替差損	31,672	16,756
その他	5,601	5,950
営業外費用合計	41,440	91,539
経常利益	261,146	466,363
特別利益		
固定資産売却益	—	1,407
保険解約返戻金	9,479	1,549
貸倒引当金戻入額	1,324	—
為替換算調整勘定取崩益	16,845	—
特別利益合計	27,648	2,957
特別損失		
固定資産売却損	1,023	1,965
固定資産除却損	1,775	2,829
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	2,572
特別損失合計	2,799	7,368
税金等調整前四半期純利益	285,995	461,952
法人税等	56,985	121,505
少数株主損益調整前四半期純利益	—	340,447
四半期純利益	229,010	340,447

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。